

ユニバーサル設計

胃部・胸部の二刀流検診車が新登場

愛媛県総合保健協会では、胃部・胸部の検診を1台で同時に行える併用検診車が導入されました。これまで2台の車両を並べるスペースが確保できず、検診の実施を断念していた会場でも、今回の新車両なら1台で完結できます。最大の特徴は、誰もが利用しやすい「ユニバーサル設計」。これは、厚生労働省が進めている「誰一人取り残さないがん対策」の考え方に基づき、より多くの方に検診の機会をお届けするための取り組みです。



誰にとってもやさしい検診車とは？

- 企業・団体や自治体の皆さま、そして受診者にとっても、次のような利点が期待されます。
- ・小規模会場でも胃がん検診の実施が可能
- ・車の乗り降り回数の減少による身体的負担の軽減
- ・運用効率の向上による安定した検診体制の確保



足腰がよわい、耳がきこえづらい、外国語...



胃

がん検診(バリウム検査)

四国エリアで初導入

音声と視覚情報を組み合わせた案内



検査の説明がよく分からない

うまく動けるか心配

胸

部検診(結核・肺がん検診)

安全性と介助しやすいレイアウト



更衣室を出ると目の前が撮影室

X線管球も連動して上下調整ができる

椅子に座ったまま撮影が可能

足の不自由な方にもやさしい

胸部X線検査では、できるだけ乗降や車内動線に配慮した設計により、足の不自由な方にも利用しやすい環境を整えました。機械を低い位置まで下げることができるため、椅子に座ったまま撮影することも可能です。長時間立つことがつらい方でも、無理なく検査を受けていただけます。これまで受診をためらっていた方にも、「これなら受診できそう」と感じていただける検診車を目指しています。

すぐに声がけできる安全設計

●迅速な介助ができて安心
更衣室から撮影室までの動線を短縮し、受診者と診療放射線技師の距離を近づけた設計としました。適切な距離感を保ちながら迅速な声かけ・介助が可能となり、安全性の向上につながります。



- 日本語
- 英語
- 韓国語
- 中国語(簡体)
- 中国語(繁体)
- ベトナム語
- スペイン語
- ポルトガル語



●外国人の方にも分かりやすい案内
多言語での案内に対応しているため、日本語に不安のある方にも安心して受診していただけます。外国人住民の多い地域や、海外人材を受け入れる企業にとっても、受診しやすい環境づくりにつながります。



イラスト動作や手話の表示

●耳が聞こえにくい方をサポート
胃の検査では、音声と画面表示で動き方をわかりやすく案内するシステムを四国で初めて導入しました。イラスト表示や手話表示、多言語での音声案内にも対応し、「何をすればいいの?」という不安をやわらげます。はじめての方にも、落ち着いて検査を受けていただける環境づくりに大切にしています。

7か国8言語に対応



この検診車の導入により、より多くの方が受診しやすい環境が整いました。会場の選択肢が広がり、受診者の負担が軽減されることで、地域全体の健康づくりがさらに前向きに進むことを期待しています。愛媛県総合保健協会は、これからも安心して受診していただける体制づくりに努めてまいります。



◀お披露目式の様子
左) 結核予防会 下川様
右) 当協会 仙波理事長